



NPO法人 横浜金沢文化協会

しおさい

Homepage <https://www.yk-bunka.com>

2020年3月号

No.49

(春秋発行)



龍華寺にて © Photo by kimie Abe

文化協会主催の行事を開催 (p2~4)

- ・かねさわ区民コンサート (p2) ・かねさわ杯区民かるた大会 (p3)
- ・文化講演会「手塚治虫」(p2) ・俳句・短歌ポスト表彰 (p4)
- ・金沢の自然観察会 (p3)

金沢区民文化祭 - 会員多数参加 (p8~9)

沢山の会員行事 - 盛況の中に開催 (p4, p10~11)

特集

旧長濱検疫所一号停留所の保存運動に向けて (p6~7)

かねさわ区民コンサート vol.1

令和元年10月5日(土)、朝からお天気に恵まれ、お客様の出足も良く、早くから金沢公会堂の入り口に列が並びました。予定通り2時開演。佐伯さんと東さんとのトークから始まり、前半の美しい歌声、美しいギターの色音が進行。後半は若さ溢れるヴォーカルアンサンブル・ヴィクトリアのハーモニーにウツリ。川上さんのヴィクトリアの紹介があり、サプライズプログラムで岩間さんの演奏へ。再びヴィクトリアの登場で聞き覚えのあるメドレーに幼い頃の思い出に浸りました。



佐伯葉子さん



川上勝功さん



東 隆幸さん



ヴォーカルアンサンブル・ヴィクトリア



岩間明日香さん



フィナーレは全員で

最後に出演者の皆様と会場が一緒になって唱歌「故郷(ふるさと)」を合唱。終演予定が少々伸びましたが、ホールの空気は熱くなっていました。

入場者数は次回の課題となりましたが、お客様からは「ステキだった」とのお声が多かったように思います。

さて、Vol.2はどうなるのでしょうか。皆様の御知恵拝借です。

(宮崎 裕子)

文化講演会「手塚治虫」 —漫画とアニメの先駆者の思い—

10月19日、横浜市出身の手塚プロダクション社長松谷孝征氏を招き、文化講演会「『手塚治虫』—漫画とアニメの先駆者の思い—」を金沢公会堂にて開催した。併せて、会場にはブラックジャックなどの原画20点も展示された。

講演では手塚治虫が、子供向け漫画にとどまらず、風刺など効かせた大人の漫画や創造性を重んじるアートアニメにも積極的に取り組み、漫画、アニメの世界を引っ張ったこと。若手には「漫画で勉強するな。いい音楽を聴き、いい映画を観て、いい小説を読みなさい。」と常々説き、自身も幅広い知識で大作も見事にまとめていったこと。その基本には戦争体験が根差していたことなどがエピソードも交え語られた。鉄腕アトム、大阪万博発表作品、アートアニメの代表作の上映もあり、松谷社長の飾らない話しぶりとも相まって、参加者は手塚治虫の人となり魅了された。

講演は「国境や海を越えて理解を深めることは大事な第一歩なのです。いまや人間同士が差別などしている場合ではないのですが、長い歴史が沈殿させてきたものは、現実にはなまかなことでは払拭できないものです。」「もしも、ぼくが、わたしが、宇宙からの眼差しを持ったなら、想像の力は光速を超えて、何万何千光年のはるかな星々にまで瞬時に到達できるでしょう。その想像の力こそ、人類ゆえの最高に輝かしいエネルギーなのです。」という手塚のメッセージで締めくくられた。(鈴木 達洋)



手塚プロダクション 松谷 孝征 社長



原画展示の様子

手塚治虫 生誕 90 周年記念
文化講演会
手塚治虫
—漫画とアニメの先駆者の思い—

株式会社 手塚プロダクション
代表取締役社長 松谷 孝征 氏

日時: 10月19日(土) 午後2時~4時
場所: 金沢公会堂 講堂 (横浜市長金沢区長より直接ご招待)

定員: 500名 (先着順にて受付、申込費 500円(税別))

※講演内容は講演要旨を掲載したパンフレットが配布されます。講演要旨は講演当日配布いたします。講演要旨は講演当日配布いたします。講演要旨は講演当日配布いたします。

●申込方法

1. 申込期間: 10月15日(木)18時~10月18日(日)18時

2. 申込方法: 電話・メール・FAX・郵送

3. 申込先: 手塚プロダクション 企画部

4. 申込先: 手塚プロダクション 企画部

5. 申込先: 手塚プロダクション 企画部

主催: NPO 法人横浜金沢文化協会
後援: 神奈川県、横浜市、金沢市、金沢市文化協会

「金沢の自然観察会」第2回講演会



講師の金子昇さん



たくさんの写真を基に説明



熱心な参加者で、会場は満員

第2回講演会は、11月1日(金)、金沢公会堂で開催。テーマは、「季節による植物観察の楽しみ方」。講師は金子昇氏。

芽吹く春では、スプリングエフェメラル(春の妖精-はかない命)や春の七草、虫を誘う花(ツツジ・サツキ等)、天敵や用心棒を雇う花(カラスノエンドウ)などをパワーポイントにて紹介されました。緑が眩しい夏では、海辺の花、水辺の花、はびこる「つる植物」。彩られた秋では、秋の七草、実の付け方で分類されるドングリのほか、紅葉の仕組みなど。寒さに耐える冬では、冬越しする植物の特徴など、多岐にわたる内容に約80名の参加者は興味深々のまなざしで聞き入っていました。

なお、当初予定していました本年4月以降の野外観察会は、当協会の都合により、開催を見合わせましたので、ご了承ください。

(橘川 和夫)

第2回「かねさわ杯区民かるた大会」

令和元年11月9日(土)、当協会では横浜市立金沢中学校格技場において、第2回「かねさわ杯 区民かるた大会」を開催しました。

第1回の反省から、敗者復活戦の導入で試合のチャンスを増やす、準優勝盾および第3位盾、参加者全員への参加賞の用意で持帰り記念品を増やすことにし、参加申込は当協会のホームページからと手軽な方法に変更しました。

参加の呼びかけは第1回と同様に地区センターやコミュニティハウスなどの区民が集う区内各所とかるたへの取組が進んでいる区内の小中学校にチラシを配布、またタウン紙にも掲載としました。大会の当日は14チーム(42名)が集まり、前回同様に熱戦が展開されました。

今回も競技の進行では日々の練習や普及活動に熱心に励んでおられる「横浜集会」に、会場の提供では金沢中学校に、参加賞では横浜市緑の協会(金沢動物園)と釜利谷西在住の今泉 修氏に、PRではタウンニュース社に、全般的には金沢区役所にご協力を頂きました。(森上 久夫)



会場の立て看板



熱戦が繰り広げられた



開会式の様子



優勝チームは並木第四小の

かわいはなの
 (左から)河合花乃さん(9)、
 かわのはるか 木許惣太
 河野陽花さん(11)、
 くん(10)

おめでとう!

令和元年度後期(第22回)俳句・短歌ポスト表彰

当文化協会の横浜金沢俳句・短歌ポスト実行委員会が主催する第22回表彰式が令和元年10月29日（火）、金沢区民活動センターの会議室で行なわれました。選考の対象となった作品は平成31年3月1



受賞者・選者・プレゼンターの一同

日から令和元年8月31日の間に区内の地区センターや神社仏閣などの10か所に設置されたポストに投函、または俳句大会等で投稿された、俳句88句、短歌23首でした。その中から、金沢区の花鳥風月を見事に詠みあげた俳句10句、短歌5首が表彰されました。

なお表彰俳句10句、表彰短歌5首は、当文化協会ホームページに掲載してありますので、ご覧ください。

（野中 建吾）

金沢区民俳句(吟行)大会

金沢俳句会では、文化協会との共催で令和元年10月27日（日）、「金沢区民俳句(吟行)大会」を開催しました。午前は金沢自然公園（含・金沢動物園）内を吟行し、午後は「ののはな館」にて句会



を行ないました。幸いにも天気に恵まれ、23人の俳句愛好家の参加があり、句会では和気藹々の内にも真剣に自作の俳句を披露しあい、互選により上位10句が選出され表彰されました。

また、句会終了後に「俳句の世界（その2）」と題した北野一清会長の俳話がありました。

互選上位10句は、当文化協会ホームページに掲載してありますので、ご確認ください。

（野中 建吾）

金沢区民短歌（秋季）大会

金沢区民歌人会では、当文化協会との共催で春と秋に年2回「金沢区民短歌大会」を開催しています。



今年の秋の大会は11月24日（日）にいつものように八景コミュニティハウスで開催され、13人の短歌愛好者が集いました。参加者は終始和気あいあいかつ真面目な雰囲気の中、互いの作品を忌憚なく推敲・添削しあいました。そして最後に互選で上位作品8首を決定しました。

互選上位8首は、当文化協会ホームページに掲載してありますので、ご覧ください。

（野中 建吾）

「海苔づくり教室」

第14回の「海苔づくり教室」が、令和2年2月16日(日)に、野島青少年研修センターで実施された。この事業は金沢区の青少年育成事業として本協会会員等で構成されている「海苔づくり実行委員会」が金沢区役所からの委託を受け、毎年この時期に実施しているもので、今回は区内の小学生47名ならびに保護者等45名が参加した。

今年は全国的に生海苔が不漁の状況で地元産の海苔を使えず宮城県から生海苔を購入するという状況で、加えて当日は雨模様の最悪のコンディションの中、実行委員会スタッフ22名の指導の下、参加者は3つのグループに分かれ、①海苔切り、②海苔つけ、③海苔干しという、昔ながらの「海苔づくり」のそれぞれの工程を行った。参加した子たちにとって、ほとんど初めての体験であったが、徐々に手際よくなり作業を終えた。海苔の水切りする時間を利用し、「海苔の生態」「金沢の海苔づくりの歴史」等について映像とテキストで解説を行い、また、昼食時には「生海苔入りの味噌汁」を味わい、午後には「横濱金澤シティーガイド協会」メンバーにより野島公園内の史跡などの見学・解説などを行い、戻ってから乾いていない板海苔を収穫。今回も満足な表情で帰宅した。

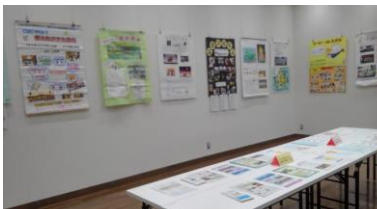
(深津 米男)

「活動紹介パネル展」参加

令和元年10月7日(月)～11月2日(土)、区民活動センター主催の「活動紹介パネル展」が、区民ギャラリーで開催された。当文化協会からは10月13日(日)～19日(土)の間、模造紙大ポスターによる協会活動を紹介、又机上に「会員募集チラシ」、「しおさい」を配置して認知度アップを図った。

また当協会の団体会員からは、「横濱金澤シティーガイド協会」「金沢区の文学と歴史愛好会」「金沢三曲会」「野口英世よこはま顕彰会」「琴アンサンブル金沢桐韻会」「南国忌の会」がパネル展示を行った。

(森上 久夫)



「フォーラム KANAZAWA2019」

令和元年11月16日(土)、金沢区生涯学習交流会実行委員会主催、金沢区役所共催で金沢区役所と泥亀公園にて2019年度のフォーラムが開催された。当文化協会及び同会員からは横濱金澤シティーガイド協会・金沢三曲会・琴アンサンブル金沢桐韻会・金沢民謡協会・南国忌の会・金沢区の文学と歴史愛好会・野口英世よこはま顕彰会・金沢華道会が出展、出演を行った。

当文化協会は2枚のパネル、「会報しおさい」と「会員募集チラシ」にて、協会の活動PRと会員勧誘を行った。

(森上 久夫)



「金沢ふれあい文化祭 秋季大会」

令和元年10月14日(月、祝)金沢ふれあい文化祭実行委員会主催、当文化協会共催にて金沢公会堂講堂で春秋通算54回目を開催。今回も、オープニングでは山形県民謡「花笠音頭」を会場全員で合唱。続いて民謡・舞踊・フラダンス・カラオケ・レクリエーションダンス・太鼓・リズム体操の団体が日頃の練習成果を披露。フィナーレは「花は咲く」「ふるさと」の2曲を全員で合唱し、盛況のうちに終わりました。各熱演の様子は当文化協会ホームページ掲載の写真をご覧ください。(阿部 きみえ)



金沢吹奏楽団

「クリスマスチャリティーコンサート」

令和元年12月22日(日)金沢公会堂にて、かなすい第18回クリスマスチャリティーコンサートを開催しました。金沢区内の障がい児者のご支援と文化協会の国際交流を目的に開催しているこのコンサートは、指揮に安田遼太氏を迎え、今年も452名のお客様と一緒に楽しいクリスマスを迎えることができました。多くの皆様のご支援に感謝申し上げます。主な演奏曲目は「陽はまた昇る」「エルサレム賛歌」「アースウインドアンドファイア

メドレー」「糸」ほか。

各演奏風景は、当文化協会ホームページに掲載の写真をご覧ください。

(寺田 早苗)



特集 国の登録文化財「旧長濱検疫所一号停留所」の保存に向けて

長濱検疫所とは

明治12年(1879年)7月にコレラの蔓延防止のために神奈川県地方検疫局が設置され、同年9月に三浦郡長浦(現在の横須賀市長浦)に設けられた「長浦消毒所」が、横浜検疫所のはじまりです。現在の場所(横浜市金沢区長浜)に移転したのは明治28年(1895年)、その際に名称も「長濱検疫所」とされました。明治32年(1899年)4月、「海港検疫法」の公布に伴い「横浜海港検疫所」と改名しました。



長濱検疫所全貌

検疫所と野口英世

明治32年6月に北里柴三郎の伝染病研究所の研究助手だった野口英世(当時22歳)が、検疫所に海港検疫医官補として勤務を始めました。入所すぐの6月22日、野口英世は横浜港に入港しようとしていた「亜米利加丸」の船員から、検疫所初ともなるペスト患者発見、隔離という成果をあげました。その功績から、当時ペストの流行が盛んであった清国・牛莊(ニューチャン)に国際予防委員会の一員として派遣され、翌明治33年(1900年)にはアメリカに渡り、以降国際的な活躍を果たします。横浜検疫所での実績は野口英世の躍進への第一歩であったと言えます。



検疫所の今昔

長濱検疫所は、敷地約4万7千㎡、建物約4千㎡、棟数38、海中に218mの防波堤、その内には118mの木造栈橋を架け船客や貨物の陸場の便に供しました。建物内には14の停留室を設けて、上等船客用には寝台を備え、一般船客用は100人を収容できたうえ、食堂、談話室もあり、さらに、それぞれ男女の浴場、化粧室もありました。その他にも、消毒施設、伝染病院、火葬場まで設け、当時としては完全な検疫所でした。



①事務所(長浜ホール) ②細菌検査室 ③横浜検疫所輸入食品・検疫検査センター
④一号停留所(検疫資料館) ⑤横浜高校グラウンド ⑥専用港(野鳥観察の池)

大正12年(1923年)に起こった関東大震災によって、長濱の施設も建物が倒壊するなどの打撃を被りました。復旧に当たっては、国道に通じる馬車道を開くため民有地約2万3千㎡を買収し、また将来停留所等の拡張のために約1万㎡を埋立造成するなどしたため、敷地面積は旧来の敷地を併せ約7万8千㎡となりました。(*横浜スタジアムのグラウンドの広さは約1万2千㎡)

現在、横浜市が旧事務所の姿を再現して長浜野口記念公園内に横浜市長浜ホールを建設、コンサートなどが開催され親しまれています。また、細菌検査室は周辺敷地と共に横浜市に移管され、同じ公園内に保存、一般に開放されています。



『一号停留所』 解体、跡地売却の危機に

長浜に建設された一号停留所は治外法権の解消を受けて検疫法で定める病原菌に感染の恐れがある未発症の外国人を含む1等船客などを一定期間停留(滞在)させる施設であり、一流ホテルの設備・機能・快適性がありました。一流ホテルの外観と内装を備えた一号停留所は検疫資料館となった後も大切に保守・管理され、平成30年に建造物では金沢区で2番目の国の登録有形文化財(建造物)に指定されました。

ところが、一号停留所を管理する輸入食品・検疫検査センターが令和4年度中に移転することになっており、明治における日本の検疫制度確立と野口英世にゆかりの一号停留所の建物、収蔵資料、敷地の行方が危機に直面しています。横浜金沢文化協会は会員であるNPO法人「野口英世よこはま顕彰会」とも連携し、長浜ホールや細菌検査室と同様、この貴重な建造物である一号停留所の保存に取り組んでいます。多くの皆様のご理解、ご支援をお願いします。



金沢区民文化祭

令和元年10月6日から令和2年2月23日まで「金沢区民文化祭」が開催されました。新装なった金沢公会堂をメイン会場とし、横浜金沢文化協会に所属の個人会員、団体会員が多く参加しました。

金沢民謡協会「民謡のつどい」

令和元年10月6日(日)、金沢民謡協会では金沢区民文化祭参加行事として第5回目の「民謡のつどい」を金沢公会堂の講堂で開催しました。

前回と同様に多くの皆様にチラシを配布したこと、はまかぜ新聞に予告記事が掲載されたこと、FMブルー湘南で事前にPR放送ができたことなどで、金沢区民をはじめ横須賀市民など300人以上の方々にご来場いただきました。



ステージに立つ側では参加支部も年々増加し、今回は14支部となりました。参加人数は101名で、小学4年10歳の男の子は太鼓で参加、94歳の女性は車椅子で登壇、それぞれ立派に曲を披露するなど、幅広い年代層の参加となりました。発表の民謡は105曲。そして



曲ごとに会場の皆様から温かい拍手を頂戴しました。ご来場の皆様、どうもありがとうございました。

なお、令和2年5月には別の趣向を持った第6回目のおさらい会を横須賀のヴェルクよこすかにて開催の予定です。(阿部 きみえ)

第1回吹奏楽の日 BRASS HARMONY

金沢区民文化祭の行事として11月23日(土)に開催された「吹奏楽の日」は、ママさんブラスサークル「チャオバンビーノ」、「ブラストファンクラブ」、「ウインドアンサンブルドルチェ♪」、「金沢吹奏楽団」といった金沢区内で活動する吹奏楽の4団体が参加して開催された、初めての合同演奏会でした。(寺田 早苗)

金沢区音楽のつどい

10月20日、新しくなった金沢公会堂で開催。金沢区内に拠点を置く音楽団体が音楽文化の向上と親睦を図ることを目的として、日頃の成果を発表しました。構成は35団体で、今回の参加は32団体。会場が金沢公会堂に戻ってきたこともあってか1000部用意したプログラムが足りなくなるほどの盛況でした。全体合唱の「金沢の四季」では、多くの方がステージに上り、ホール全体に華やかな歌声が響き渡っていました。

(宮崎 裕子)



金沢三曲会「金沢三曲演奏会」

令和元年11月3日(日・祝)、金沢三曲会では新しく完成した金沢公会堂での最初の三曲演奏会を開催しました。



今回は公会堂完成祝賀記念として全23曲のプログラムの中ほどの11曲目で「六段の調」を会員有志42名で演奏しました。舞台の前面にたくさんのお琴その後ろに尺八が並び圧巻の大合奏となりました。流派を超え、古曲ならではの重厚な音色に観客の皆様から大きな拍手をいただきました。



プログラムの8曲目では、今年初めて出演した小さい男の子が一生懸命にお琴をひきながら歌を歌っている姿がとてかわいらしかったです。(渡辺 淳子)

金沢区吟剣詩舞道連盟 「創立20周年記念大会」

令和元年10月26日新装なった金沢公会堂にて連盟傘下11流派・会により開催されました。恒例の金沢八景詩・歌謡吟詠コンクールのほか、「詩歌の旅」「鎌倉懐古」「四季を詠う」の三本の構成番組などの賑やかなプログラムを、小学生から、シルバーまで、200人あまりが参加、一日を楽しみました。

(大川 岳要)



日本舞踊公演

令和元年10月27日(日)金沢公会堂にて、24回目となる公演を開催しました。

大道具、照明、音響、大阪屋かつら、松竹衣装、顔師等の御協力で日本舞踊本来の姿を皆様に見て頂き「感動」と嬉しい電話をいただきました。



これからも伝統文化の継承と技芸の向上を図り、世代を超えて楽しんで頂ける様に務めたいと思います。

(花柳 徳蓮)

迎え花と茶道具展

令和元年11月5日～11日の7日間、金沢区庁舎1階エレベーターホール前の展示スペースに金沢区民文化祭参加行事として「迎え花」と「茶道具」を展示しました。

中央のオープンスペースには「迎え花」。両サイドに庭の大きくなり過ぎた「サルスベリ」と「ソテツ」の葉を利用。中心に南国の花「キングプロティア」と黄色い「オンシジューム」、そして赤い「グロリオサ」で、はじける様な軽やかさを出しました。

両側のガラスケースには「茶道具」。右側には、千利休によって大成された茶の湯の作法としての結び、左側には、点前には用いられる事のない装飾性としての花結びとさせていただきます。

(堀 蕙柯、田中 宗美)



金沢茶道会「茶会」

令和元年11月

10日(日)金沢地区センター2階において、金沢区民文化祭茶会を行いました。和室裏千家武江宗里席は、このたびの祝賀御列の儀と炉開きをふまえたお道具組



でした。ロビー表千家田中宗美席は、秋を彩る道具組のお席でした。今回余暇室をロビー席待合いにした事により混雑もなく、秋日和の中、162名のお客様をお迎えいたしました。

(田中 宗美)



区民と小中学校の作品展

令和元年11月

6日(水)～12日(火)、当協会員を含む区民ら約140人からの公募作品の展示が金沢公会堂の多



目的室(書道・手工芸)、会議室(絵画・写真と小中学校生徒の作品)、リハーサル室(俳句と短歌)にて実施され見学に来られた延べ約1200人の方々に楽しんでいただいた。(野中 建吾)



華道展

文化祭の華道展では、会員とその門下が、季節の花に、それぞれの想いを込めて、いけあげました。華道展会場で毎年行われる無料体験コーナーは大好評で、近年は男性や御子様も多く、自分の初めての作品に、嬉々としてシャッターを切っている姿は嬉しい限りです。花薫る会場に多数御来場いただきました。

(堀 蕙柯)



朗読「たちばな」第8回発表会

令和元年10月13日(日)、金沢公会堂多目的室に出演者一同集合。台風19号の影響で交通もストップしたりと、開催も危ぶまれましたが、たとえお客様が少なくても、来られるメンバーで練習の成果を発表しましょうと・・・。

ところが、なんと70名もの方々にお越し頂き、有り難く感謝の気持ちでいっぱいでした。生誕120年の川端康成、同110年の太宰治、樋口一葉等の全10作品を朗読。群読もあり、黒一点の男性の協力も有りバラエティに富んだ会となり、盛会のうちに終わることが出来ました。(橋 有美)



琴アンサンブル金沢桐韻会
「35周年記念箏演奏会」

令和元年12月1日(日)、金沢産業振興センターホールにおいて「箏演奏会」が開催されました。

今回は、琴アンサンブル金沢桐韻会の35周年を記念する演奏会でしたが、出演者全員が舞台いっぱいに並んだ迫力の「星へのセレナーデ」、終曲の「春の海」などすべての演奏曲が好評で、日頃の練習成果を思う存分披露できました。

お祝いの特別出演では、金沢三曲会の役員有志の方々に「六段の調べ」を弾いて頂きました。もう一つの特別出演は六浦小学校琴クラブで、少ない人数ながら元気いっぱいの演奏で、盛大な拍手に包まれました。(佐野 史瑞子)



金沢茶道会

「旧伊藤博文金沢別邸復元十周年記念お茶会」

当初、10月13日(日)に予定していましたが、天候の都合により、11月24日(日)に、旧伊藤博文金沢別邸において、復元十周年記念茶会を、主催・(公財)横浜市緑の協会、共催・金沢茶道会、担当席主・裏千家田中宗美で行いました。

当日、時折雲の合間から陽がのぞく中、112名のお客様をお迎えいたしました。(田中 宗美)



「橋 有美の一人語り」

令和元年11月24日(日)、柳町コミュニティハウス主催の第2回目は、文語体と口語体の入り交じった難解な樋口一葉の「十三夜」に挑戦。友人が出版された本から童話を一作品。そして乃南アサの離れ離れになっていた親子が再会するという感動的なお話を、一人で1時間半語らせて頂きました。明治と現代の女性の生き方の違いも感じて頂けたようです。31名の参加があり、東京からお越しの方も本当にありがとうございました。これで通算5回目の一人語りとなりました。(橋 有美)



令和2年金美・新春絵画展

恒例の金沢美術協会の新春絵画展は、令和2年1月26日(日)から2月1日(土)まで、金沢区役所2階の区民ギャラリーにて開催されました。出展数は油彩13点、水彩18点、水墨2点、その他3点、合計36点でした。号数は3号から8号まででした。作品の出来映え、展示方法ともにご好評のうちに終了しました。(大滝 照平)



金沢三曲会「和楽器出前教室」

平成8年より、区内の小・中学校で、和楽器に親んでもらうために出前講座を行ってきました。今年度は小学校の5,6年生を対象に箏、三味線、尺八に挑戦してもらいました。

箏の体験では「さくら」を実際に弾いてみて「指づかいが難しかったけど、さくらが弾けて楽しかった」、三味線は「右手でバチを持って押さえ、左手で音程を作るのが大変」、尺八は「先生にコツを教えてもらったから、音が出て嬉しかった」などの感想が聞かれ、子供達に喜んでもらったことに、指導する私達も毎回やりがいを感じています。
(渡辺 淳子)



第12回金沢区美術展

「見る人と描く人の想いをよせて集う金沢区民の美術展」をキャッチフレーズに、11月21日～26日の6日間にわたり能見台地区センター体育室で開催しました。今回は第12回展になりますが、一般区民・会員から133点の力作が寄せられ、芸術の秋に相応しい美術展となりました。また、初日の21日には、国画会会員・常世隆先生の講演会&ギャラリートークが開催され、美術展会場において大勢の観衆のなかで美術展会出品者と常世先生とのトークがおこなわれ、作品に対して適切なアドバイス等々をいただき、大変好評でした。



(小林 昭一)

生涯現役かなざわ会公開講演会
「江戸川柳をめぐって」

令和元年11月30日(土)、能見台地区センターにおいて、第161回生涯現役講座講演を開催しました。講師は、長年教職関係に従事してこられた蕪木秀敏氏で、演題は『江戸川柳をめぐって』です。川柳は俳句と同じ句型をもちながら季語や切れ字といった約束事にしばられず、世事万般、日本や中国の歴史・故事などを自在に詠み、滑稽や風刺を込める文芸です。実際の作品と蕪木先生の解説を聴き、56名の参加者も楽しみました。
(門口 泰宣)



金沢区民囲碁大会 (秋季)

令和元年10月13日(日)に金沢区囲碁大会に約60人が参加。最高齢で97歳の方が毎回参加されておられ、他の参加者へ元気を与えてくださいます。

真剣勝負の次回の戦いが今年も5月24日(日)に金沢地区センターで開催されます。参加費1500円、軽食が付きますので一日楽しめます。予約なしで当日9時半受付開始、10時スタートですのでドシゴ参加頂けたらと。
(高橋 徳美)

金沢三曲会
「第82回金沢三曲会 研究会」

第82回金沢三曲会・研究会が令和2年2月11日(火・祝)金沢公会堂で開催されました。冬晴れの中、古曲や新曲など日頃の研鑽の成果を各々が発表。

今回は全15曲、35名の会員が演奏しました。弾いた事のある曲や聴いてみたかった曲など、毎回魅力的な曲が多く、次回6月の研究会に向け、それぞれがまた練習に励んでいきます。
(渡辺 淳子)



南国忌

去る2月23日(日)富岡東にある「長昌寺」で、第38回南国忌が開催された。記念講演は「時代屋の女房」にて第87回直木賞を受賞した村松友視氏。演題は「人間の不思議」。

新型コロナウイルス流行の最中にもかかわらず、約100名の参加者があり、ユニークな生い立ちを持つ氏ならではのアングルから覗いた、人間という「不思議」を炙りだした。
(窪田 修)



文化協会行事予定(令和2年4月~9月(日程順))

行事名	実施日	実施場所	問い合わせ先 電話番号
俳句短歌ポスト表彰式	4月24日(金)	金沢区民活動センター	045-781-5044
金沢ふれあい文化祭	4月26日(日)	金沢公会堂	045-785-3506
金沢民謡協会 おさらい会	5月3日(日)	ヴェルクよこすかホール	045-785-3506
金沢茶道会 緑の大茶会	5月10日(日)	三溪園鶴翔閣	045-782-9722
金沢区民短歌大会	5月下旬	八景小コミュニティハウス	045-781-5044
瀬戸神社居合道奉納演武会	5月23日(土)	瀬戸神社	045-783-2298
金沢区囲碁大会	5月24日(日)	金沢地区センター	045-780-3199
生涯現役かなざわ会 講演会 「西ヨーロッパはなぜ世界を征服したか」	5月30日(土)	能見台地区センター	045-773-6074
金沢区民俳句大会	6月7日(日)	金沢地区センター	045-781-5044
金沢茶道会 あじさい祭茶会	6月13日(土)・14日(日)	八景島客船ターミナル	045-782-9722
金沢三曲会研究会	6月20日(土)	金沢公会堂	045-781-1483
金沢吹奏楽団 第49回定期演奏会	6月21日(日)	金沢公会堂	090-7189-5298 (17:00~)
畠山六朗重保公顕彰法要	6月22日(月)	畠山重保公廟所	045-782-2858
野口英世よこはま顕彰会 パネル展 金沢区の宝「一号停留所」が解体の危機に	6月24日(水)~7月4日(土)	金沢区民ギャラリー	045-786-4618
金沢区朗読公演会	6月28日(日)	金沢公会堂	045-785-4757
生涯現役かなざわ会 講演会 「誰も知らないマグドナルド成功の秘密」	7月25日(土)	能見台地区センター	045-773-6074
野口英世よこはま顕彰会 体験教室 ペットボトルで顕微鏡づくり	8月8日(土)	長浜ホール	045-786-4618

個人会員紹介 (茶道) 田中 美恵子

私は、東京都大田区から金沢区に移り住んで、36年になります。現在、「金沢茶道会」に所属しています。

茶道裏千家をはじめて57年になります。同じ茶道をしています95歳の母とお茶談義ができることは、私自身茶道を続けられたお陰と家族に感謝です。

「金沢茶道会」の一員として、金沢区に根をはった活動目指し、すすんで行きたいと思っています。



訃報

白井俊一(相談役)様のご逝去されました。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

会報編集委員

編集長	阿部孝三
副編集長	鈴木達洋
編集委員	阿部きみえ 内園一廣 金間誠一 塚本眞砂子 宮崎裕子 渡辺淳子

顧問一覧(50音順 敬称略)

大村 悠、小幡 正雄、片岡 順一、木村 久義、国吉 一夫、黒川 澄夫、黒川 勝、佐野 和史、篠原 豪、鈴木 節夫、高井 祿郎、高橋 徳美、竹野内 猛、松崎 淳、松本 純、谷田部 孝一

賛助会員一覧(50音順)

- (法人)
- ・赤ひげ小川笙船法要会
 - ・一般社団法人 金沢区三師会
 - ・医療法人社団 景翠会 金沢病院グループ
 - ・医療法人社団 湘南太陽会 鳥居泌尿器科・内科
 - ・植周造園株式会社
 - ・金沢白百合幼稚園
 - ・白山 東光禅寺
 - ・有限会社 オッターブルー
 - ・株式会社はまかぜ新聞社
- (個人)
- ・芦部 久美子
 - ・御菓子司 横浜紅谷
 - ・竹嵩山 禅林寺
 - ・有限会社 清水薬局

編集後記

会員向けであると同時に、多くの方々に「横浜金沢文化協会」の活動をお知らせする広報誌でもあると考え、興味を持ってもらえる内容にするために「特集記事」を設けました。頁数も増え、より一層内容の濃いものになるよう努めました。(塚本)